

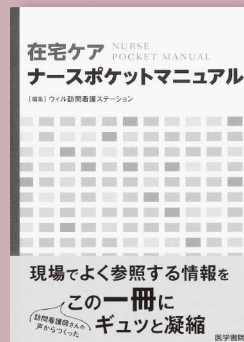
今月の 新刊紹介



固定チームナーシング 責任と継続性のある看護のために 第4版

著：西元勝子，杉野元子，北神洋子
発行：医学書院
定価：本体 2400 円＋税
B5 判 288 ページ

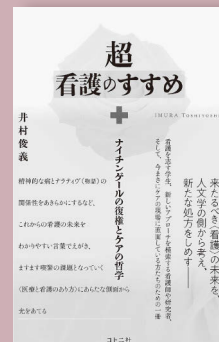
固定チームナーシングの考え方と実際，定着までを解説した好評書の最新版。病院グループでの一斉導入や地域包括ケア病棟の実践例などを追加。多職種カンファレンスや人材育成も大幅拡充。看護職 1 人ひとりが責任と継続性のある看護をするためのヒントが満載。



在宅ケア ナースポケットマニュアル

編集：ウィル訪問看護ステーション
発行：医学書院
定価：本体 1800 円＋税
A6 判 264 ページ

在宅の現場で頻繁に参照する情報や，ケア・指導のポイント，あると便利なスケールおよびデータを網羅的に掲載。何か困った時やうっかり忘れてしまった時に，その場でパッと開いて，欲しい情報にすぐに当たることができる，実用的なポケットマニュアル。



超看護のすすめ ナイチンゲールの復権とケアの哲学

著：井村俊義
発行：コトニ社
定価：本体 2400 円＋税
四六変型判 256 ページ

文化人類学，民俗学，文学，哲学とナイチンゲールの思想を駆使して，「看護とは何か」「生きることと死ぬことの意味」について思考を続ける著者。患者と看護者のあいだに新たな関係を築く，これからの看護のあり方「超看護」を提示する。



令和元年版 看護白書 看護職の働き方改革 —社会の動きと看護現場での取り組み—

編：日本看護協会
発行：日本看護協会出版会
定価：3300 円＋税
B5 判 284 ページ

「看護職の働き方改革」をテーマに，看護職の働き方の現状，国の働き方改革の概要，日本看護協会の取り組みを解説。ダイバーシティ・マネジメントや，評価と賃金の連動などに関する先進的な事例から，看護職にとっての働き方改革とは何かを考える。



医療・看護系のための 情報リテラシー Office 2019 対応版

著：松木秀明，須藤真由美，松木勇樹
発行：東京図書
定価：本体 2200 円＋税
B5 判 229 ページ

初心者に向けて，Windows10 の基本操作から，Word，Excel，PowerPoint の使い方，インターネットや情報セキュリティまで丁寧に解説。画像を多用した実践的な課題を解きながら，業務はもちろん，論文や研究発表にも役立つ技を身につけよう。



他者と働く 「わかりあえなさ」から始める組織論

著：宇田川元一
発行：ニュースピックス
定価：本体 1800 円＋税
四六判 200 ページ

「わかりあえなさ」から始まる組織内の対立や抑圧。この複雑で厄介な「適応課題」を解くためには，相手の「ナラティブ」に入り込み，新しい関係性を構築することが必要と説く。組織論とナラティブ・アプローチが融合した，現場を動かす経営学。

看護管理に
効く
1冊

新刊！
NIPPON PRESS